

原発運転継続 無神経すぎる

無職

(和歌山県 76)

東日本大震災の翌2012年夏から私は毎週金曜夕方、地元和歌山市にある関西電力和歌山支社近くで、「原発反対」のプラカードを掲げる無言のデモを続けている。仲間はず数人から50人ほど。国会議事堂前などで続く毎週金曜のデモに呼応する運動である。熊本県を中心に九州で続く大地震はひとつと思えない。懸命の救助、救援活動に頭が下がる思いだ。

16日午前起きた地震では、全国の原子力発電所で唯一稼働中の川内原発1、2号機がある鹿児島県薩摩川内市でも震度4を観測。しかし、政府は運転継続を容認した。菅義偉官房長官は「(揺れの大きさが)十分低いことから、現状において停止する必要はない」と発言した。何と無神経な人々が原発に関わっているのかと、私は暗澹たる気持ちでいる。

川内原発の周囲160*以内には活発に活動を繰り返す桜島や阿蘇など39もの火山がある。過去には、巨大噴火の火砕流が原発近くまで届いていたという調査結果もあるというのに。

九州電力は一刻も早く川内原発を停止すべきである。九電が応じない場合は政府が停止命令を出すべきだ。それが、政府が国民の安全に責任を持つという本来の意味だと私は考える。